

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.1 - 40)

件名	ハル洗浄槽の詰まり	
事象の概要	(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: ハル洗浄槽 (2) 発生の状況 ハル洗浄槽の運転中 (3) 概要 ハル洗浄槽出口に、長い燃料せん断片又は燃料の構成部品のスプリングが引っ掛り、出口を塞いでしまったことによりハル洗浄槽全体がハルの詰まり事象が発生	
事象による影響	(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 前処理建屋せん断処理・溶解廃ガス処理設備が稼動しているセル内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。 (2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 ハル洗浄槽の停止に伴い、燃料供給工程、せん断工程、及び溶解槽は停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。 (3) 作業員への影響 作業員への影響は発生しない ハル洗浄槽の復旧作業は、全て遠隔保守作業であり、放射性物質を直接扱わないため、作業員への影響は生じない。 (4) 他工程への影響 他工程への影響が生じる。 堆積したハルの除去作業によるハル洗浄槽の停止に伴い、せん断機、溶解槽等の運転に影響が生じる。さらに、下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋と分離建屋の間にある一時的な貯留槽(計量後中間貯槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。	
対応の概要	(1) 閉塞原因になったハル又はスプリングを確認する。 (2) 定められた保守作業手順に従って閉塞原因となったハル又はスプリングを除去し、ハル洗浄槽内部に溜まったハルを排出した後、ハル洗浄槽本体にトラブルが及んでいないことを確認する。 (3) 定められた操作手順に従って運転を再開する。	
公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転システムを切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 放射性物質の外部放出 放射性物質による汚染、被ばく等 工場外への影響 工場内への影響 多重防護の劣化 運転時・保守時からの逸脱等

